



## 支部だより

### 東北支部

## 化学への招待—弘前大学一日体験化学教室

### はじめに

2025年7月19日(土)に、弘前大学理工学部・教育学部・農学生命科学部を会場として、化学への招待が開催されました。青森県内の中学生・高校生を中心に、39名の方が参加してくれました。

### 講演

午前中は、弘前大学大学院理工学研究科の関谷亮先生による「分子があつまり、機能をつくる」と題した講演が行われました。分子間に働く引力を利用した分子の集合体である、様々な超分子について紹介されました。2016年のノーベル化学賞(分子マシンの設計と合成)の内容なども紹介され、参加者の方々は熱心に聞き入っていました。

### 化学実験体験

午後からは、10のグループに分かれて、化学実験を体験してもらいました。実験の内容は以下のとおりです。



- ・実験A「色で測る!!-ドリンク剤中の鉄の定量-」(理工学研究科 北川文彦先生)
- ・実験B「めざせ!! 元素マスター -金属精錬と3D周期表-」(理工学研究科 太田俊先生)
- ・実験C「果物のにおいを作る」・「ルミノールを用いた発光反応」(理工学研究科 川上淳先生)
- ・実験D「ケミカルライトを作ってみよう!」(理工学研究科 関口龍太先生・伊東俊司先生)
- ・実験E「DNA抽出実験+VRで見る! -光るタンパク質の正体-」(農学生命科学部 栗田大輔先生)
- ・実験F「まるで生き物!? 温度を感じるふしぎなプラスチックをつくる」(理工学研究科 呉羽拓真先生)
- ・実験G「ブラウン運動と微生物の運動を見てみよう」(教育学部 岩井章介先生)
- ・実験H「コンピュータの中で分子をつくる」(理工学研究科 山崎祥平先生)
- ・実験I「色が変わる無機高分子」・「色素増感太陽電池」(理工学研究科 阿部敏之先生)
- ・実験J「医療分野で活躍する磁性ナノ粒子をつくる」(理工学研究科 松田翔風先生)

参加者からは、「わかりやすい内容で化学に興味をもつことができた」、「普段聞くことのできない講義や、体験できな



いような実験ができ、良かった」、「化学の素晴らしさや楽しさを学び、化学をもっと学びたいと思える良い機会になった」などの感想が寄せられました。来年度以降も引き続き開催する予定であり、本企画を通して、中学生や高校生、一般の方々が化学に興味を抱ききっかけとなってくれればと思います。

### おわりに

2025年度の化学への招待は日本化学会東北支部のご支援、ご協力の下、実施されました。ここに深く感謝いたします。

〔竹内大介(弘前大学大学院理工学研究科)〕

© 2025 The Chemical Society of Japan